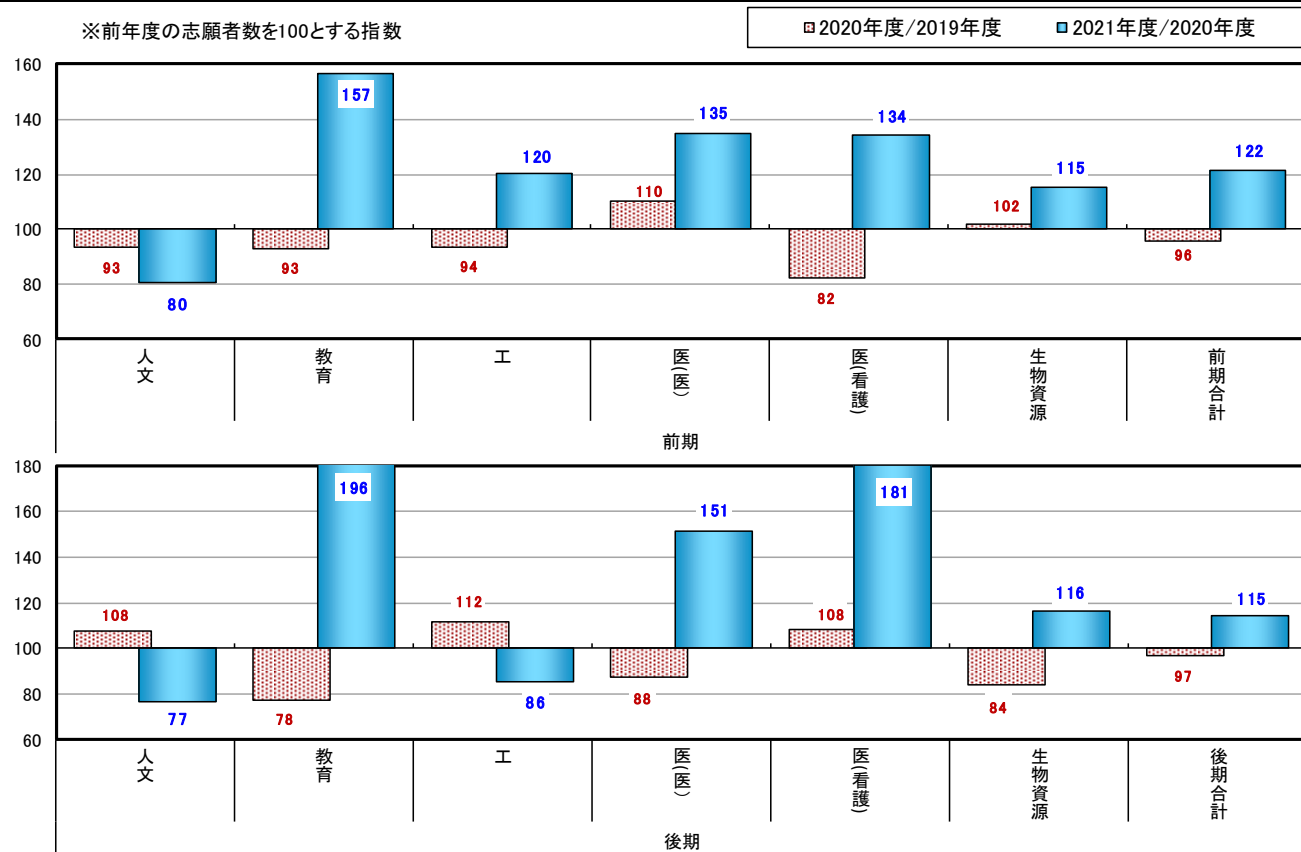


2021 年度入試状況分析【国公立大】

三重大：前期・後期ともに大幅増加で、4年ぶりに増加

前期：+542人 後期：+318人



入試変更点

廃止・改称：教育(学校/数学)…数学教育専攻・情報教育専攻→数学教育コース
 ※情報教育専攻廃止し、数学教育専攻の名称変更
 選抜方法：工<後>調査書の扱い変更…各コースの合否ラインに同点で並んだ場合、調査書を総合的に評価し順位を付ける ※(総合/建築)を除く
 募集人員：人文(文化)<後>…23人→18人
 教育(学校/国語・初等)<前>…10人→11人 (学校/社会・初等)<前>…7人→8人
 (学校/数学・初等)<前>…8人→9人 (学校/理科・初等)<前>…5人→10人
 (学校/音楽・初等)<前>…3人→4人 (学校/美術・初等)<前>…5人→6人
 (学校/保体・初等)<前>…5人→6人 (学校/技術・初等)<前>…4人→5人
 (学校/家政・初等)<前>…4人→5人 (学校/英語・初等)<前>…5人→6人
 共通テスト：人文(文化)<後>…〔外+{国 or 歴公 or 数 or (理 or 理基2)}〕→2〕
 →国+歴公2+数2+外+(理 or 理基2)
 (法律経済)<後>…〔外+{国 or 歴公 or 数 or (理 or 理基2)}〕→2〕
 →〔国+数2+外+{歴公 or (理 or 理基2)}〕→3〕
 教育(学校/音楽・初等)<後>…〔{国 or 歴公 or 数2 or 外 or (理 or 理基2)}〕→3〕
 →国+歴公+数2+外+(理 or 理基2)
 個別試験：教育(学校/国語)<前>…{(国 or 数 or 外)→2}→国+(数 or 外)
 医(看護)<前>…外+面→外+面+(国 or 数)
 人文<後>…論→論+ペーパーインタビュー ※ペーパーインタビューは志望理由についての350~400字程度の記述試験
 生物資源<後>…数 or 理→(数 or 理)+ペーパーインタビュー ※ペーパーインタビューは字数制限のある記述試験

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は3年連続減少の反動で542人(122)の大幅増加、志願者数は2013年度以来の3,000人を上回った。後期も3年連続減少に反動で318人(115)の大幅増加、志願者数は2,500人を上回った。

<前期日程>

- 人文(80)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(文化)(60)は2年連続増加の反動で40%の大幅減少で、志願倍率は2倍を下回った。(法律経済)(95)はやや減少で3年連続減少、志願者数は2013年度以来の300人を下回った。
- 教育(157)は、約60%の大幅増加で、志願者数は2008年度以来の800人を上回った。課程・コース・専攻・選修別(以下「募集単位別」)では、24募集単位中14募集単位が増加と増加した募集単位別が目立った。増加した募集単位では、(学校教育/学校-教育学)(1408)は前年度減少率70%を超える激減で志願倍率も6.1倍→1.7倍に大幅ダウンした反動と、データネット(駿台・ベネッセ主催共通テスト自己採点集計)時点での志望者が半減だったことによる志望変更による流入も加わって激増。(学校教育/保健体育-初等)(567)は2年連続大幅減少の反動で激増。一方で減少した募集単位では、(学校教育/技術-中等)(36)、(学校教育/技術-初等)(44)、(学校教育/家政-初等)(44)は半減以下の大幅減少。
- 工(120)は改組後3年目だが、大幅増加。コース別では、(総合工/総合工)(271)は前年度半減以下の反動で約2.7倍の激

2021 年度入試状況分析【国公立大】

増、(総合工/応用化学)(140)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(総合工/電気電子工)(73)、(総合工/機械工)(76)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。

- 医(医)(135)**は、大幅増加で2年連続増加。系統への人気が高まりもあって、志願者数は2017年度以来の400人を上回り、志願倍率も4.0倍→5.3倍にアップ。
- 医(看護)(134)**は、個別試験の科目負担増があったが、系統への人気の高まりと2年連続大幅減少の反動で大幅増加。
- 生物資源(115)**は、前年度の微増に引続き大幅増加で、志願者数は3年ぶりに400人を上回った。学科別では、(海洋生物資源)(150)が2017年度の改組後減少が続いていた反動で1.5倍増の大幅増加。(共生環境)(126)は3年連続大幅減少の反動で大幅増加。

<後期日程>

- 人文(77)**は、系統への低い人気に加えて、2年連続増加の反動で大幅減少、募集人員が減少(前年度募集人員対比指数91)したが、志願倍率は7.8倍→6.6倍にダウン。学科別では、(文化)(50)は前年度激増の反動に加え、募集人員が減少(前年度募集人員対比指数78)および共通テスト科目負担増への敬遠から半減、一方で、(法律経済)(116)は前年度大幅減少の反動で増加、志願者数は2年ぶりに200人を上回った。
- 教育(196)**は、前年度大幅減少の反動で倍増近い増加。2014年度の改組後、前年度の反動による増減が継続。募集単位別では後期募集を行う10募集単位中、増加した募集単位は8募集単位と増加が目立った。増加した募集単位では、(学校教育/保健体育-初等)(524)は3年連続減少、しかも過去2年は大幅減少だった反動で5倍以上激増。(学校教育/数学-初等)(370)は、3.7倍の激増。(学校教育/特別支援)(297)は前年度約半減だった反動で、(学校教育/社会-初等)(293)は5年連続減少の反動で、いずれも3倍近い激増。一方で減少した募集単位では、(学校教育/音楽-初等)(65)は大幅減少、(学校教育/社会-中等)(96)はやや減少。
- 工(86)**は、前年度増加の反動で減少、志願者数は2019年度の改組後では最も少なくなった。コース別では、(総合工/建築)(169)は激増で2年連続増加。(総合工/電気電子工)(124)は大幅増加、一方で、(総合工/機械工)(57)は前年度増加の反動で減少率60%を超える大幅減少、(総合工/応用化学)(64)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(総合工/情報工)(84)は大幅減少で2年連続減少。
- 医(医)(151)**は、約1.5倍の大幅増加。2年連続大幅減少の反動と、共通テストの平均点アップにより、共通テスト重視の配点および個別試験が小論文だけなので、共通テストの高得点を生かそうとした層に狙われた。
- 医(看護)(181)**は、系統への高い人気と共通テストの平均点アップにより、共通テスト重視の配点および個別試験が小論文だけなので、共通テストの高得点を生かそうとした層に狙われて激増。
- 生物資源(116)**は、2017年度の改組後、3年連続減少した反動で大幅増加。学科別では、(資源循環)(199)は前年度は約半減で2年連続大幅減少だった反動で倍増、一方で(共生環境)(83)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。